

理念

（仮）子どもたちの元気な声が聞こえる ずっと住みたい生涯活躍のまち ～健康医療都市まえばし～

基本目標

①若者（18-34歳、特に女性）の結婚・出産・子育ての希望をかなえる <主に自然減対策>

2030年までに合計特殊出生率 1.82
2040年までに合計特殊出生率 2.07

（当面5年間の目標）合計特殊出生率
現状値：1.42 → 2019年：1.52

②若者の定着と高齢者の活躍により、地域の活力を維持する <主に社会減対策>

2040年：人口30万人、年少：生産年齢：老年の割合＝14%：51%：35%
2060年：人口26万5千人、年少：生産年齢：老年の割合＝15%：52%：33%

（当面5年間の目標）20-24歳の市外転出超過数
現状値：△251人 → 2019年：△118人

優先課題

1 未婚率の上昇
→未婚の原因解消

2 夫婦間の出生数の減少
→産み控えの原因解消

3 若者の総数の減少
→若者の定着・還流と新たな流れの創出

4 要介護等認定者率の上昇
→生涯活躍のまちづくり

解決に向けた方向性

① 出会いの機会の応援
② 安定的な雇用と収入の確保

③ 不妊・不育支援

④ 2人目の壁打破

⑤ こどもの育ちを支える教育

⑥ 市内高等教育機関の魅力向上

⑦ 市内大学生等の定着

⑧ ふるさと就職を促す魅力あるしごとづくり

⑨ 交流人口の増加

⑩ 移住・定住促進

⑪ 生涯活躍のまちづくり

⑫都市のコンパクト化と公共交通ネットワーク（コンパクトシティの推進）



本市の強み（地域特性・他市との優位性）

- 健康・医療
- 農業・食
- 立地・防災
- 教育・文化
- 自然・I初*

課題の解決

※「選択と集中」、「地域特性の活用」、「官民連携」

